

平成24年度まちづくり講演会・連続講座

2013/2/22 ~ 3/22

アートマネジメントや文化政策などの分野で活躍していらっしゃる東京藝術大学の熊倉純子氏をコーディネーターに迎え、「アートが“まち”を救う!?—地域の活性と新たなコミュニティづくりのために—」と題してまちづくり講演会と・連続講座を開催しました。

既存のコミュニティの活性化や新たなコミュニティの形成にアートは何かしらの作用をもたらしているのでしょうか。連続講座では、熊倉先生のお話を導入に、両吉田氏のあいちトリエンナーレにおける長者町の事例を、そして「住み開き」で話題になったアサダワタル氏を招き、バリアのないコミュニティについて考えました。

まちづくり講演会では、各々の地域を中心に多角的に活躍中の3名の方を招いてお話いただきました。

まちづくり講演会 池田 修氏 (BankART1929 代表)
永田宏和氏 (デザイン・クリエイティブセンター神戸副センター長)
山出淳也氏 (NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事)

連続講座 1. 熊倉純子氏 (東京藝術大学教授)
連続講座 2. 吉田有里氏 (あいちトリエンナーレ 2013 アシスタントキュレーター)
吉田隆之氏 (愛知県職員)
連続講座 3. アサダワタル氏 (日常編集家)



講演録を作成中です。名古屋都市センターのホームページに掲載予定です。

若いアイデアが駅西を刺激する
「なごや縁カレッジ」 2013/3

なごや縁カレッジの一環として、学生が「名古屋駅西地区」をフィールドに、まちづくり関係者による基調講演、まちあるきワークショップを通じて考えたまちづくりのアイデアを冊子にまとめました。学生の専攻分野に応じた様々なアイデアが見受けられました。



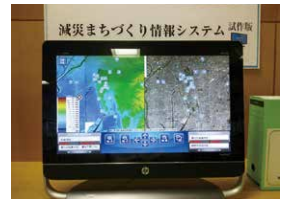
減災まちづくりシンポジウム 2013/3/22

名古屋市内外の4つのモデル地区を対象とした事前復興（減災まちづくりと復興準備）をテーマとして取り上げました。午前中は各地区の災害危険度などのデータを活用しながら、大学、経済界、NPO、行政関係者などによるワークショップを行い、午後からはその結果報告をもとに、コメントを交えた意見交換を行いました。



減災まちづくり情報システム（試作版） 2013/3

名古屋都市センターと名古屋大学減災連携研究センターが共同で開発する「減災まちづくり情報システム」の試作版をまちづくりライブラリーに設置しました。災害危険度や古地図などの情報を重ねて表示することができ、個々の防災意識の向上や地域での減災まちづくりなどに役立てていきたいと考えています。是非ご体験ください。



私のお気に入りの場所 ◀ 中川区戸田二丁目、三丁目 ▶

私は毎日一万歩以上歩いているが、それは強ち健康のためばかりではなく、あちこち見て、時代と共に変貌する街並みを観察するのが好きな為でもある。万歩計の歩行記録によれば、この一年で4百万歩以上歩いている。当然のことだが歩くコースは5~6種類あるが、何故かこのコースだけがずば抜けて多い。戸田界隈の「浄賢寺、太平寺、法然寺、西照寺、實泉寺」と醸造所と古民家の一画である。そのまま進むと何処かの家に突きあたる様な細く曲がりくねった地道、頭を打ちそうな低い軒先、堪らなく郷愁をそそる原風景である。(ただ、欲を言えば、岩合光昭の「世界のネコ歩き」に倣い、この風景の中に猫の入ったワンショットがあれば最高！)

公益社団法人 愛知県建築士事務所協会
相談役 岡田 利一さん



2030年都市が変わる、技術が支える

2013/3/20 ~ 5/12



まちにあらわれる新しい技術や研究成果をご覧いただき、まちの課題を克服して人々が安心・安全で快適な暮らしができる「将来の名古屋」を思い描いていただく機会として企画展を開催しました。

科学技術が社会にあらわれる時期を示す年表とともに、次世代住宅の姿やエネルギーを効率的に利用する技術、単身者や介護者の方の生活を支えるパートナーロボットや交通環境がより安全で快適になる研究の成

果を技術が社会にあらわれる時期を示す年表とともにパネルや映像で展示を行いました。

ホールでは、立ち乗りの小型モビリティ“セグウェイ”の不思議な乗り心地を体感していただく試乗会を実施、年配の方も簡単に乗ることができ、参加者より将来の移動手段として期待する声があがりました。

講演会は、日本科学未来館、科学コミュニケーターの野副晋氏より将来の人口、気候や社会の予想と情報通信技術のエネルギーや防災への応用について伺い、来場者と一緒に名古屋にあらわれてほしい科学技術を考え現在の実用例とこれからの課題を学びました。



セグウェイ体験試乗会



講演会「未来の都市を支える技術」

まちづくり活動助成団体活動成果報告会が開かれました

2013/5/19

平成24年度にまちづくり活動助成を受け、地域“魅力”アップ部門7団体、まち“夢”工事部門4団体の活動成果報告会を開催しました。

第1部は「活動成果報告」、第2部は「ポスターセッション」を行い、各団体と参加者が交流・情報交換を図る場となりました。



【第1部】活動成果報告の様子



【第2部】ポスターセッションの様子

◆発表団体：地域魅力アップ部門

◆発表団体：まち“夢”工事部門

めいとうかえるプロジェクト

より魅力をアップした植田川を区民の憩いの場としてもっと利用を拡げたい



名古屋城外堀ヒメポタルを受け継ぐ者たち

名古屋城ヒメポタルの森ほっとプロジェクト



長者町アートアニュアル実行委員会

長者町界隈での「まちとアートの出会いの場」の整備



清須越400年事業ネットワーク

伝馬橋史跡説明板設置



長者町アートアニュアル実行委員会

まちとアートの出会いによる継続的な長者町界隈の魅力発信



鳴子きずなの会

鳴子きずなの花咲か事業～対話を育む“みんなのお庭”づくり～



名古屋活動写真

「名古屋空襲を語る」の出版(23年度製作映画の書籍化)



特定非営利活動法人 まちの縁側育くみ隊

ジネンカフェ



てんぱくプレーパークの会

プレーパーク小屋の再建



鳴子きずなの会

ようこそ鳴子へ！新田・世代を結ぶ共感育みプロジェクト(新住民歓迎交流会、鳴子コミュニティガーデンなど)



まちづくり活動助成は、市民の皆さんや企業などから寄付を受けて創設した「まちづくり基金」を活用して、まちづくり団体の活動を支援するものです。

えこども

子どもが行きたくなるようなエコなトイレを山頂に！

